

平成 30 年度第 2 回湖南省環境審議会 議事要旨

日 時 :平成 30 年 12 月 18 日(火) 15:00~16:20
開催場所 : 湖南省共同福祉施設 1 階大会議室
出席委員 : 鈴木委員、野呂委員、池田委員、及川委員、船越委員、足立委員、
高田委員、上西(富)委員、北村委員、明石委員
(10 名)
欠席委員 : 成瀬委員、藤井委員、上西(保)委員、吉川委員 (4 名)
事務局 : 谷畑市長、萩原総務部長、加藤総務部管理監、坂田生活環境課長、
安田主幹、堀田主査、渡邊専門員 (生活環境課) (7 名)

1. 開会 (司会:総務部生活環境課長)

(1) あいさつ

- ・谷畑市長あいさつ
- ・鈴木会長あいさつ

2. 議事 (議長:鈴木会長)

「湖南省環境審議会規則第 3 条 2 項に基づき本日の出席委員は 14 名の内出席は 10 名であり過半数以上の出席があり本日の審議会が成立している」と事務局から報告。
湖南省環境審議会規則第 3 条に基づき会長が議長となり、議題の審議に移る。

(1) 報告事項

- ・生活環境課より資料 1 湖南省環境基本計画評価報告書について説明

審議会委員意見	事務局
会長:今の説明だが、前回、委員から頂いた質問やご意見に対しての対応結果である。ご指摘、ご意見をお願いしたい。	
委員:次期計画の計画期間について今日の資料のどこに触れているのか。国にあわせて 10 年にしてはどうかという提案は私が前回の審議会ですし上げた。その回答は。	計画の期間は変えず来年度から 10 年とする。
委員:資料のどこに記載があるのか。	今、説明した資料 1 の中では次期計画の期間については触れていない。しかし、前回の審議会です質問された部分でもあるので併せて回答し

委員：了解した。

会長：補足だが、資料1では、第二次計画の事について触れておらず、今後計画の素案を作成する中で、2019年度からの10年間という内容が盛り込まれるということだ。

委員：多言語対応の話だが、私が前回の審議会でお話したことだが、予算、労力の関係もあり、資料1を多言語化しないという解釈でよいか。資料2の内容を多言語化する方が、湖南省が、どのような取り組みをしているかを知る情報として大切だと思う。資料1を多言語化するのも大切だが、今後の湖南省を知っていただくには、資料2を多言語化し発信していくことが大切。

会長：湖南省にいる外国籍の方の割合は。

会長：5%となるとかなり多い。資料1と2全てを多言語化するのは大変だが、資料2の内容を中心に、資料1の重要な部分は検討するということである。

委員：47ページの伝統行事「石部例大祭（東寺）」とあるが、石部例大祭の吉御子神社、吉姫神社のみこしは旧街道で行われるので「（東寺）」を取られた方がいい。

た。

先ほどの多言語対応に関する回答は資料1および資料2について答えた。委員が言われるように、資料2についても多言語で作成できればよいが、ボリュームが多く色々な言語を使って策定するのは予算上難しいが、一番大事な環境配慮指針、市民への具体的な取り組みについては、多言語であるほうが望ましいと事務局も理解している。ごみの出し方や環境に配慮した行動などは外国籍の方にもアピールした方がよいので、今後検討していく。

4～5%となっている。

修正する。

<p>会長：間違いがあつたらもったいないので訂正があれば事務局にご連絡をお願いしたい。資料1についてはおおむねこのような形でよいか。</p> <p>委員：異議なし。</p>	
--	--

・生活環境課より資料2 環境配慮指針および数値目標について説明

審議会委員意見	事務局
<p>会長：意見、質問があればお願いしたい。現行計画では基本目標が5つあり、今回も中身は同じ。基本施策については、20個あったものが今回14個に減少、具体的な施策も70個から38個になりすっきりしたと思う。資料4ページを見ると、体系図の右側に矢印があつて「重点プロジェクト」となっている。これが次の審議会の議題になるのか。現行計画では重点プロジェクトが11個ありそれぞれについてまとめてあつたが今回の重点プロジェクトもそれぞれについてまとめるという解釈でよいか。</p> <p>副会長：湖南省の歴史と文化に関することである。既にご覧になっている方もいるかもしれないが、教育委員会では子どもたちに郷土愛を持ってもらうことを目的に、子ども向けの郷土資料集を作成してる。この郷土資料集には湖南省の歴史や文化、偉人の業績などがたくさん書かれており、一般市民にもぜひ読んでいただけたらと考えている。湖南省の文</p>	<p>本日の説明は基本目標とそれに関する指標である。それぞれの目標ごとに具体的な施策を整理し、これから5年後10年後の計画の到達度を見る指標を挙げている。重点プロジェクトについてはどういった取り組みをするのか、重点プロジェクトの数、それぞれ目標ごとに設定するのかを含め、次回以降に提示を予定している。なお、重点プロジェクトの内容については、今回ご意見を頂ければと思っている。</p>

化や歴史を知らない市民もいらっしゃるの
で、教育委員会と連携して郷土資料を活用し
た勉強会などを開催していただき、湖南省の
歴史と文化をしっかりと理解してもらうこと
で、郷土愛につながればと思う。そういった
取り組みも検討していただければと思う。

委員：非常に細かいことを聞くが2ページの
基本目標のところ。オレンジ色の枠で囲って
ある部分について、一番上が「こなんの未来
を育む人・地域づくり（人づくり）」で、一番
下が「人と自然が共生するまち（自然環境）」
と身近な項目になっている。しかし3ページ
以降については基本目標の掲載順が逆になっ
ている。要するに、他と整合を図り、最初を
「人と自然が共生するまち」、最後を「低炭
素・循環型のまち」にした方がよいと思う。
次に非常に細かい話だが、3ページの「課題」
の部分の3段目「文化景観環境」からポツの
位置がずれているので、そろえていただけた
らと思う。12ページの下の特ピックス「森・
里・川・湖のつながりについて」とあるが、
資料1の14ページを見て頂いたら分かるの
だが、「森～川～里～湖」という表現になっ
ている。「・」と「～」どちらかに揃えた方がよ
いと思う。もし変えたことに何か意味がある
のであれば、そのままでもよいと思う。

会長：今の意見について、事務局から答える
ことができることがあれば回答願う。1つ目
の指摘については、意見どおりに直した方が
すっきりすると思う。また、基本目標の並び
順について、資料1の最後にある課題の総括
も自然環境、生活環境、文化景観環境、資源

10 ページ、基本目標3「心豊かなくらしと文
化を育むまち」の「歴史・文化の保存・継承」
が今の意見に該当する内容になっていると思
う。郷土愛を育むための活動となっている。
生涯学習課や教育委員会とも連絡を取り、連
携しながら検討していきたい。

循環、人づくりの順に整理されている。資料2の2ページの基本目標の並びも整合を図って頂けたらと思う。

委員：すでに基本目標と指標が決まっており、重点プロジェクトはこれから策定されるのか。作業の流れとして、重点プロジェクトを決めて、具体的に何に取り組むか決めてから目標を決めるのではないか。基本目標とは、どういう意味か。現行計画は、重点プロジェクトの内容から目標を決めていると思うのだが。今回は最初に基本目標を決めて今後重点プロジェクトと取り組み内容について議論するという事によいか。考え方を教えてほしい。

委員：目標の取り組み体制をどこまでやるかという意味で質問したのだが。

ご意見を踏まえ並びや表示の仕方について修正したいと思う。

まず基本目標は、環境像を実現するため分野ごとに設定し、それぞれの取り組みと指標を示している。重点プロジェクトは基本目標を達成するためのプロジェクト手段といったもので、今後、基本目標の指標を達成するために、重点的に何に取り組むべきかを考えることになる。基本目標の考え方は現行計画から変更ないが、その目標がどこまで進んだか把握するための指標・インジケータとしての目標値を新たに掲げている。重点プロジェクトは、その目標を達成するための手段として設定するものと考えている。

現行計画では、11の重点プロジェクトの達成度をそれぞれ報告して、そのプロジェクトの進捗で図っていた。今回の重点プロジェクトにおいてもプロジェクトの内容にもよるが、数値目標などで達成度を示すことも検討していきたいと考えている。今回の示した指標と数値目標は、計画を推進することによってどれだけ環境が変化したのか、市民の意識が変

会長：非常に大事なところなので、他にも色々な意見を頂けたらと思う。

委員：先ほどの意見に関わることであるが、インジケーターがあった方がよいというのは私が申し上げたことだ。前回の審議会で、指標としてアウトプットとアウトカムの2種類があるという話をした。社会の変化や成果としてあらわす目標がアウトカムになる。今回、まとめた指標を拝見したが、基本的なアウトカムで社会の変化を表すインジケーターとして設定されたのではないかと思う。市はおそらく各項目で設定したインジケーターの中から特に重要なものを取り出して、重点プロジェクトとして整理するイメージを持っていらっしゃるのではないかと思った。それと、2ページのイントロのところで、委員が言われたとおり、3ページ以降の並びに合わせた方が分かりやすいと思う。また、広域・身近という観点について、例えば「広域」にあたる資源循環について、一人1日のごみ排出という指標を設定しているが、私たちにとっては一番身近な問題である。そういったこともあるので、広域・身近といった表現がない方が分かりやすいと思った。3ページの「資源循環環境」について、温暖化対策も含まれるので「低炭素・」というのを冒頭につけた方が分かりやすいのではないか。また4ページでは「低炭素・循環型」とあるので、特にこだわりがなければ、施策の方向性「11 地球温暖化対策の推進」を最初にもっていく方がタイトルに合って分かりやすいと思う。5ページの下から2行目のSDGsの説明に「基本方針」という言葉が出てくるが、これが基本目標なのか別のものなのかよくわからない。13ページの地球温暖化対策の推進のところでは施策を5つ挙げているが、トピックの記載にも

わったのか、そういったものを図るための指標と考えている。

あるように、基本的に地球温暖化対策は緩和策と適応策の2つに分かれるのが通常だ。今回のように5つに分けてしまうと、省エネ対策が緩和策や適応策でもないみたいに捉えてしまう方がいるかもしれない。「緩和策（対策名）、適応策（対策名）」という表現の方がよいと思った。15ページの市民の具体的な取り組みの中で上から3つ目のポツの中に「環境家計簿『みるエコおうみ』』というのを挙げている。これは、以前、県がホームページをつくってやっていた取り組みだと思うのだが、3～4年ほど前に閉じている。最近は関西電力や大阪ガスなどの民間企業の無料サービスサイトがよく利用されていると思う。環境家計簿の利用は確かに大事なことなので、単に「環境家計簿」とだけ記載すればよいと思った。

会長：今の指摘について、事務局からお答えできることはないか。

会長：10ページの基本目標3「心豊かなくらしと文化を育むまち」の下に書いてある説明文について、内容が基本目標2のものになっているが、どちらが正しいのか。

会長：3ページの真ん中の「課題」の部分について文末がすべて「～が必要」で終わって

2ページの基本目標の部分については、先ほど委員からもご意見をいただいているので、次ページと併せて事務局で検討したいと思う。5ページの「基本方針」について、本計画では「基本目標」という書き方をさせていただいているところから、書き方について整合を図り、「基本目標」に修正させていただきたいと思う。低炭素などの表記や環境家計簿についても、ホームページなどを確認しながら正しい表記、最新の表記にさせていただきたいと思う。

ご指摘のとおり、10ページの記載が誤りのため修正する。

いるがこれでよいのか。課題なのだから「何々が必要」というのはいらないと思った。

委員：このご指摘について提案だが、「現状」の部分に既に課題のことも記載しているので「現状」のタイトルを「現状と課題」に、「課題」のタイトルを「方向性」に修正してはどうか。

副会長：文末を「ですます」で統一するほうがきれいだ。

会長：文末の「～が必要」という表現を変えてはどうか。こういう文言は難しい。

会長：修正が大変だが、よろしくお願ひしたい。次の審議会の日程や内容について説明をお願ひしたい。

3ページの「課題」の書き方については委員からご提案いただいた内容もあるので、どういった見せ方で読みやすい形にするかを事務局で検討させていただきたい。なお、「課題」の文末に「必要」と記載しているのは、課題としてわかりやすくするため。「ですます」調に統一するといったご意見も頂いているのでそれも含め検討させていただきたい。

計画の策定までのスケジュールについてだが、本日今年度2回目の環境審議会ということで、環境配慮指針と数値目標についてお示しさせていただいた。次の3回目の審議会については、3月頃の開催を予定している。内容としては、目標を達成するための重点プロジェクトを中心に計画素案としてご提示させていただきたいと思っている。最終的には来年度の6月頃を目途に、計画の最終案をまとめ、委員の皆様にお示しできたらと考えている。計画の策定については審議会の意見などを伺いながら進めていきたいと思っており、場合によっては審議会の開催数を増やして対応することになるかもしれない。

会長：次回は3月頃で重点プロジェクトを中心に議論をし、パブリックコメントはその後ということか。

会長：その他に何かあれば、説明願う。

会長：低炭素・資源循環環境のところは、ポリシーもあるし、大事なところという理解でよいか。ではまとめに入るが、ご意見があればお願いしたい。本日は審議事項が2点あり、1点目の評価報告書については、ミスなどがあれば後日事務局にご指摘いただくということで、内容については概ね了承ということでよいか。2点目の環境配慮指針と数値目標については皆様から大変積極的な意見を頂いた。事務局で検討頂き修正案が来年3月に

議会での報告なども必要となるので、議会の前にパブリックコメントをさせていただいて市民からご意見を賜りたいと思っている。パブリックコメントの実施時期については5月前後になると考えている。

今後の計画のスケジュールとは別の説明になるが、本日ご都合により欠席されておられる委員から、本日の審議内容について、事前にご意見・アイデアを頂いている。低炭素、地球温暖化対策やエネルギー施策の部分については密な連携が必要。審議会の中でも、積極的な議論が必要といったご意見を頂いている。生活環境課の事業ではないが地域エネルギー室において、こなんウルトラパワーや地域共同発電といった取り組みを積極的に推進している。冒頭、事務局から地域エネルギーフォーラムのチラシの説明があったが、こちらについて当市の地域エネルギー室の担当がパネリストとして出席して、市のエネルギー施策の発表や議論に参加するものとなっている。このエネルギー施策については、環境基本計画の中でも重要な施策の1つであると考えているので、ご都合のつく委員は、このフォーラムにご出席いただければと思う。

出るとということでしょうか。重点プロジェクトの中身については次回詳しく議論していただけたらという流れになると思う。議事1、2については、それでよいでしょうか。議事内容で、何か意見があればよろしくお願ひしたい。

委員：全体を読ませていただいて、時々意味の分からない単語が出てくる。それに関して用語集はつくのか。例えば15ページに出てくる「ペレットストーブ」や「コージェネレーションシステム」、「HEMS」なども読んでいて何のことだろうと思ひながら読み流している。そういう単語に関して、用語集をつけていただけると読みやすいと思う。

会長：本日は議事の円滑な進行にご協力をいただき感謝する。司会を事務局にお返しする。

第2次計画の策定にあたっては資料編に用語説明をつけさせていただきたいと考えている。

皆様貴重なご意見をいただき、また会長には円滑な進行をしていただきお礼を申し上げます。

今回、お示しした資料2については、事務局がいろいろな目標や施策を考え提案させていただいている。普段、生活、仕事をされている中で、湖南省にこんなことに取り組んでほしい、こんなことが足りないなどお気づきのところが多々あると思う。そういったところのご意見をいただきこの計画に反映して、より良いものにできたらと思っている。次回の審議会でも結構であるので、それまでにお気づきのことがあれば、直接事務局に連絡していただき、いろいろとご意見をいただければと思う。

3. 閉会

野呂副会長あいさつ